

ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称 (※1)	指定等の状況 (※2)	ストーリーの中の位置づけ (※3)	文化財の所在地 (※4)
1	常夜燈 <small>じょうやとう</small>	未指定	航海の目印として造られた国内最大級の石造りの常夜燈。江戸時代から今も変わらず港を見守り続けている鞆の浦のシンボル。	
2	雁木 <small>がんぎ</small>	未指定	潮の干満に関係なく船を着けられ、荷揚げができるようになっている。全長約 150 m、最大 24 段もの石階段が円形劇場のように続く。石造りとしては国内最大級の規模。	
3	波止 <small>はと</small>	未指定	江戸時代、高波被害から港湾を守るために鞆港を包み込むように造られた石積みの防波堤。穏やかなカーブを長く描く。石造りとしては国内最大級の規模で、今も江戸時代の波止が3基ある。	
4	船番所跡 <small>ふなばんしょあと</small>	未指定	遠見番所とも呼ばれ、港に出入りする船を見張る役目を持つと同時に、安全も管理・監督していた。江戸時代、波止の付け根の高台に石垣を築き、その上に船番所が建てられた。現在は石垣、石階段部分が残る。	
5	福山市鞆町伝統的建造物群保存地区 <small>ふくやまし ともちょう</small>	国重伝建	江戸時代中期までに整えられた地割の上に、廻船業で繁栄を極めた江戸時代からの伝統的な町家や寺社、石垣等の石造物、港湾施設などが一体となって良好に残る。狭い間口の敷地に庇が連なる町家や、広い敷地に建つ豪商の商家、細い路地の向こうに海が見える景観など、近世港町の町並みを色濃く残す地域。	
6	太田家住宅	国重文 (建造物)	江戸時代から明治にかけて保命酒の醸造販売で栄えた鞆を代表する豪商の遺構。広大な敷地に主屋のほか、保命酒蔵など当時の構えを良く残す。洒落たナマコ壁など意匠を随所に見ることができる。	
7	太田家住宅朝宗亭 <small>ちようそうてい</small>	国重文 (建造物)	常夜燈前にある荷揚げ場の隣へ位置し、港に面して長い石垣・白壁が続く。鞆の浦きっての豪商の屋敷の一つで、海外から琉球使節も迎えた大規模な町家。通りを挟んで建つ太田家住宅の別邸。	

8	いろは丸展示館	国登録	港町として繁栄した鞆の往時を偲ばせる江戸時代末期の大きな白壁の「浜蔵」。現在は、鞆沖で沈んだ坂本龍馬率いる海援隊の蒸気船「いろは丸」の足跡を証す資料館。	
9	鞆の津の商家	市重文 (建造物)	間口が狭く通り土間が残る典型的な江戸時代の商家。主屋の隣には蔵が引付き並ぶ。	
10	沼名前神社能舞台	国重文 (建造物)	豊臣秀吉遺愛の能舞台といわれる。鞆の商人たちが盛大な演能会を催した。国内唯一の移動式能舞台（現在は固定）。	
11	沼名前神社の石造物群	未指定	海上安全の参拝者が多く、境内には港にまつわる商人や遊女などが寄進した玉垣、燈籠や鳥が止まっているような鳥居などの石造物が膨大に奉納され、近世港町をよく偲べる。	
12	医王寺	未指定	港の後山の中腹に建つことから、鞆港に入ってくる船の目印になってきた。鞆港の全景が一望に見渡せ、境内にある鐘楼の鐘の音が港まで響く。	
13	寺町筋	未指定	江戸時代に港の周辺部に並んで神社仏閣が整備され、面影を今日に伝えている。町角に現れる個性豊かな寺社群は圧巻。この寺の多くに朝鮮通信使の使節団は、分散宿泊した。	
14	淀媛神社	未指定	鞆港西側の高台に位置し、港の入口を守護するようにそびえ立ち、平の産土神として祭られる。屋根の上にあるX字状の千木が、海から際立って見える。ここから港や島々の景勝を望める。	
15	鞆公園	国名勝	瀬戸内海の中でもとりわけ美しい鞆周辺が1925年に名勝指定。青く輝く穏やかな海と島々の美しい稜線は、朝鮮通信使など海外からの客人をも魅了した。この名勝は各所の高台からも楽しめる。	
16	朝鮮通信使遺跡鞆福禅寺境内	国史跡	朝鮮通信使の高官の迎賓館・常宿。客殿からの眺めを朝鮮通信使は、「日東第一形勝」（日本で一番美しい景色）と称賛した。	
17	対仙酔楼	未指定	楼閣の2階では仙酔島や弁天島の景色を眺めながら来客を饗応した。頼山陽が「対仙酔楼」と命名し、ここからの眺めを「山紫水明」と称えた。	

18	ばんたいじ かんのおんどう 磐台寺観音堂 (阿伏鬼観音)	国重文 (建造物)	海にせりだした高い岩上に建てられた朱塗りの観音堂は、鞆の浦へ向かう船の目印になっていた。ここからの眺めは青く輝く海や美しい島々を大パノラマで満喫できる。海上安全を祈願する場所であったが、今は安産祈願で有名。朝鮮通信使も立ち寄った。
19	鞆の浦鯛しばり網漁法 ^{あみ}	市無形民俗	江戸時代から鞆に伝わる伝統漁法。鯛の群れを6隻の船団で取り囲み一網打尽とする勇壮な漁法。国内で唯一継承されている。
20	福山鞆の浦弁天島花火大会	未指定	江戸時代から弁天島・仙酔島などの名勝を舞台に続く花火まつり。天保2(1831)年の中村家日記にも、「弁才天御祭礼花火」等が記される。
21	お弓神事 ^{ゆみ}	市無形民俗	年頭にあたり悪鬼を射払ってその年の無病息災を祈る祭儀。当番町は揃って高唱しながら町中を練り歩く。
22	お手火神事 ^{てび}	市無形民俗	巨大な松明の火の粉が飛び散る勇壮な火祭り。主に沼名前神社を舞台に行われる。海上安全や無病息災の願いを込め、町全体を火で清める。
23	はっさく うまだ 八朔の馬出し	未指定	江戸時代から続く伝統行事で、一時途絶えたが、今では全国でも鞆のみ開催。子どもたちの成長を町中で祝う。鞆商人の見栄をみるような大きな木馬に子どもたちが乗り、町並みをまわる。
24	秋祭り (渡守神社例祭) ^{わたす}	未指定	沼名前神社の境内にある渡守神社の秋の例祭。「海路平安」を司る神様が祀られている。見事なチョーサイ(山車 ^{だし})を町中へ引きまわし、町並みを格別に輝かせる。
25	鞆の津の力石 ^{ちからいし}	市有形民俗	港で荷役作業に従事した仲使が祭礼の場などで力比べをした石。200kgを超えるものもあり、石には重さや持ち上げた人の名前が刻まれ、沼名前神社や住吉神社に奉納されている。
26	ほうめいしゅ 保命酒	未指定	江戸時代に大坂(阪)からやってきた漢方医の中村吉兵衛が生薬をつけ込んで造ったといわれる漢方薬味酒。福山藩の重要な産物として藩の財政を潤し、ペリー来航の際に供された。現在は4軒で醸造されている。

27	鯛料理	未指定	鯛網で知られる鞆の浦ならではの料理。刺身や浜焼きのほか、豪快な鯛のかぶと煮や祝い事に欠かせない鯛そうめんなど多彩。	
28	ネブトのから揚げ	未指定	瀬戸内海で捕れる小魚のから揚げ。正式名称は天竺鯛。 <small>てんじくたい</small>	
29	小魚の練り物 (がす天など)	未指定	瀬戸内海の中央で育まれた鯛や小魚といった新鮮な魚を加工した練り物。	

- (※1) 文化財の名称には適宜振り仮名を付けること。
- (※2) 指定・未指定の別、文化財の分類を記載すること（例：国史跡、国重文（工芸品）、県史跡、県有形、市無形等）。
- (※3) 各構成文化財について、ストーリーとの関連を簡潔に記載すること（単に文化財の説明にならないように注意すること）。
- (※4) ストーリーのタイプがシリアル型の場合のみ、市町村名を記載すること（複数の都道府県にまたがる場合は都道府県名もあわせて記載すること）。